

＼観察してみよう／

なかばくふさゆうおうかぐんえんもみじひゃくろくす

中瀑布左右桜花群猿紅葉百鹿図のうち

おうかぐんえんず

桜花群猿図

描いた人：森寛斎 (1814~1894)

描かれた年：明治19年 (1886)



秋

もみじひゃくろくす
紅葉百鹿図
※いまはおやすみ中



夏

ばくふず
瀑布図
※いまはおやすみ中



春

おうかぐんえんず
桜花群猿図
展示中！

こんかい み
今回見るのはこれ！



1. この猿はどこにいる？

みつけたら、左の絵に○をつけてみよう



2. 猿は何匹いるかな？

かぞえたら下からえらんで○をつけてね

A. 25匹 B. 35匹 C. 45匹

3枚で1セットの絵で「春夏秋」とも呼ばれます。いま展示してあるのは、そのうちの春の絵です。
真ん中にうねうねした川、桜と松の木、そのまわりにたくさんの猿たちがいる春の川べが描かれています。近づいてよく見ると、猿のほわほわした毛や、豊かな表情や群れの中でのすごしかたがよく表現されています。何も描かれていない白い部分をわざと残して、滝や川を表現していることも特ちょうのひとつです。